

授業科目	国際ボランティア演習					単位	2			
履修	選択	関連資格				ナンバリング	EN21501J/E			
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2					
担当教員	塚本 美紀									
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>持続可能な社会を創るために、グローバルなパートナーシップや協力が欠かせない。この授業では、実務家教員としてNPO法人で様々な国際交流及び国際貢献プログラムを実施してきた経験を生かし、さまざまな国際協力の形を紹介し、カンボジア教育支援プロジェクトを一例として、協力や交流の在り方について解説し、実際に交流プログラムを実施する。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>国際協力の在り方について理解する。</li> <li>カンボジアの地理、歴史、文化、教育について理解する。</li> <li>海外の学生との交流プログラムを企画し、実施する。</li> </ol>									
達成度評価										
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	40	30	30	0	100			
知識・理解 (DP1-1)			10	5			15			
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)			10	5			15			
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)					5		5			
関心・意欲 (DP3-2)					5		5			
態度 (DP4-1)					5		5			
態度 (DP4-2)				5	5		15			
態度 (DP4-3)				5	5		15			
技能・表現 (DP5-1)			5	5	5		15			
技能・表現 (DP5-2)			5	5			10			
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル	標準的なレベル									
1. 国際協力の在り方について説明できる。 2. カンボジアの地理、歴史、文化、教育について説明できる。 3. 海外の学生との交流プログラムを企画し、実施することができ、今後も継続的なグローバル・パートナーシップの在り方について考えることができる。	1. 国際協力の在り方について理解できる。 2. カンボジアの地理、歴史、文化、教育について理解できる。 3. 海外の学生との交流プログラムを企画し、実施することができる。									
授業計画										
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)				
1	オリエンテーション 授業の概要について説明する。	講義	復習：学んだことを振り返る。			30				

2	国際理解について 国際理解について体験的に学ぶために、シミュレーション・ゲームを行い、そこで感じたこと、学んだことについて考える。	講義 演習	復習： 学んだことを振り返る。	30
3	国際貢献 国際貢献について、いくつかの事例について学ぶ。	講義 演習	予習： 資料を読む。 復習： 学んだことについて振り返る。	60
4	カンボジアの地理について カンボジアの地理について学ぶ。	講義 演習	予習： 発表の準備をする。 復習： 学んだことについて振り返る。	90
5	カンボジアの歴史について カンボジアの歴史について学ぶ。	講義 演習	予習： 発表の準備をする。 復習： 学んだことについて振り返る。	90
6	カンボジアの文化について カンボジアの文化について学ぶ。	講義 演習	予習： 発表の準備をする。 復習： 学んだことについて振り返る。	90
7	カンボジアの教育について カンボジアの教育について学ぶ。	講義 演習	予習： 発表の準備をする。 復習： 学んだことについて振り返る。	90
8	カンボジアと日本の関係について カンボジアと日本の関係について学ぶ。	講義 演習	予習： 発表の準備をする。 復習： 学んだことについて振り返る。	90
9	カンボジア学生との交流(1) ビデオ会議でカンボジア学生とそれぞれの国の文化について紹介する。	演習	予習： 発表の準備をする。 復習： 学んだことについて振り返る。	90
10	カンボジア学生との交流(2) 来日するカンボジア学生との交流プログラムについて企画する。	演習	復習： 文化の違いなどにも留意し計画を文書にまとめる。	60
11	カンボジア学生との交流(3) 互いの文化を学ぶ交流会を実施する。	演習	予習： 交流会の準備をする。 復習： 学んだことについて振り返る。	90
12	カンボジア学生との交流(4) 互いの文化を学ぶ交流会を実施する。	演習	予習： 交流会の準備をする。 復習： 学んだことについて振り返る。	90
13	カンボジア学生との交流(5) ビデオ会議を実施し、交流プログラムの振り返りを行う。	演習	予習： 発表の準備をする。 復習： 学んだことについて振り返る。	60
14	カンボジア教育支援について(1) カンボジアの学校で行われている教育支援について学ぶ。	講義 演習	予習： 資料を読む。 復習： 学んだことについて振り返る。	90
15	カンボジア教育支援について(2) カンボジアの学校で行われている教育支援の効果について考察する。	講義 演習	予習： 資料を読む。 復習： 学んだことについて振り返る。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	国際社会に対する興味関心と基礎的な世界情勢についての知識。			
テキスト	適宜資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜授業中に紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	北九州でもさまざまな国際交流や国際貢献のプログラムが実施されています。是非一度参加してみてください。			
達成度評価に関するコメント	レポート、発表、その他の提出物については、授業中に説明する。			